

2021年度 星座保育園

保育士自己評価表に基づく保育園の自己評価

※各保育士による自己評価を基に、総合的な結果を出し、評価の低かった点については改善策を話し合い、共通理解のもと改善につとめる。

・各項目ごとに評価の回答数を合計し記入する。・対象…保育士18名（設問によっては対象人数が異なる場合あり）A：かなりできている B：ほぼできている C：あまりできていない D：ほとんどできていない

1章 総則	A	B	C	D
1、保育園は、入所している子どもの最善の利益を考慮し、心身ともに健やかに育てる責任があることを理解していますか。	8	10		
2、保育の目標に基づいて保育をおこなっていますか。	5	11	2	
3、子ども一人ひとりの人格を尊重した保育をおこなうとともに保育士自らの人間性や専門性の向上に努め、豊かな感性と愛情をもって保育をしていますか。	3	13	2	

2章 子どもの発達	A	B	C	D
1、乳幼児期は生涯にわたる「生きる力の基礎」が培われる時期であることを理解して保育していますか。	6	12		
2、子どもの発達は、豊かな心情・意欲・態度を身に着け、新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか。	1	17		
3、子どもの発達の特性や「発達過程」を理解し、発達の連続性に配慮して保育をしていますか。	5	13		

3章 保育の内容	A	B	C	D
1、保育の内容は、目標を具体化した「ねらい」とさらに具体化した「内容」から構成されていることを理解していますか。	3	15		
2、保育所保育は、「養護」と「教育」が一体化となって展開されることに留意していますか。	7	11		
3、養護とは、子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士が行う援助や関わりのことであり、教育は、子どもが健やかに成長しその活動が豊かに展開されるための発達の援助であることを理解していますか。	5	13		

(1) 養護に関わるねらい・内容 (生命の保持及び情緒の安定)	A	B	C	D
4、朝の健康観察を丁寧におこない一人一人の平常の健康状態や発育及び、発達状態を的確に把握していますか。	3	10		
5、子どもの特性や発達過程を踏まえ、常に清潔で安全・安心な保育環境を心掛けていますか。	6	12		
6、子どもとの温かなやりとりやスキンシップを常に心がけ、子どもの心の安定につなげていますか。	7	11		
7、保育士等の温かい受容的な雰囲気や関わりが、子どもの自信や自己肯定感を育むことを理解して保育していますか。	2	16		
8、「早くしなさい！」など、せかす言葉を不必要に使わず、一人ひとりの発達過程に合わせた柔軟な対応を心がけていますか。	2	16		
9、「ダメ！」「いけません！」などの制止する言葉を不必要に用いないようにしていますか。また、子どもの気持ちを受け止め、共感することの大切さを忘れない保育をしていますか。	5	13		
(2) 教育に関するねらいと内容				
10、散歩や公園・園庭遊びなど戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか。	4	12		
11、保育士が率先して体を動かすなど、子どもがその楽しさを体験できるよう配慮していますか。	3	10		
12、食事の前や排泄後の手洗いの励行など、清潔の習慣が身に着くように援助していますか。	5	11		
13、子どもが見通しをもって、意欲的に行動できるようにすると共に快適に生活するための約束事をわかりやすく伝える工夫をしていますか。	2	9		
14、危険に気付いて行動できるよう、安全についての心構えや約束を日頃から話していますか。	3	9		
15、つまづきや葛藤、喧嘩などを子どもの育ち（発達）に欠かせないものとして捉え、適切な対応をしていますか。	1	17		
16、困っている友だちのことを心配するなど、思いやりの心を育てる保育をしていますか。	3	10		
17、保育士は、子どもにとって最も身近な人的環境であるとともに、保育士のすべての言動が子どもにとってのモデルになっていることを常に意識していますか。	2	14	2	

18、順番や約束を守るなど、決まりを守ることの大切さを、園生活や遊びの中で、月齢に応じたわかりやすい言葉や態度で丁寧に知らせていますか。	2	11		
19、子ども同士が力を合わせて目標に向かって取り組む姿や、協力して遊びを展開していく姿を十分に認め、その喜びや達成感が味わえるような活動を取り入れた保育をしていますか。		10		
20、子ども同士が自分の思いを伝えたり、相手の思いに気付けるように援助や助言を行っていますか。	1	9		
21、身近な自然事象に触れ、子どもたちの「どうして?」「なぜ?」といった疑問に対して一緒に調べたり、考えたりしていますか。	2	6		
22、身近な自然を通して、様々な発見や美しさや不思議さなどに気付くことができるような環境づくりをしていますか。	1	9		
23、毎日の生活の中で、図形や数量、前後左右、遠近などの位置の違いや時間などについて関心が持てるような環境構成に配慮していますか。		6		
24、信頼できる相手に伝えたい、わかってもらいたいという気持ちが発語を促すことを理解し、子どもの表情や姿を観察しながら、共感や、代弁など、その場に適した言葉がけをしていますか。	3	10		
25、子どもがわからないことを尋ねたり、自分の楽しい経験を話すなど安心して話せる雰囲気を作っていますか。	2	11		
26、子どもが、絵本や物語の内容を楽しんだり、共感したり自分の経験を結びつけたりと、想像をめぐらせるような読み方を工夫していますか。	3	10		
27、あいさつや、返事、「ごめんなさい」「ありがとう」などの生活に必要な言葉を自然に使えるような保育をしていますか。	2	12		
28、歌ったり踊ったり、体を動かしたりして音や動きの楽しさを味わい心地よさを感じる機会を作っていますか。	2	11		
29、様々な音、色、形、手触り、におい、味わいなど五感を刺激する活動を保育にとり入れていますか。	6	9		
30、はさみなど、いろいろな道具の使い方を月齢に応じて、丁寧に教えたり、見守ったりしていますか。	1	6		
31、自由に描いたり、作ったりできるように、材料や用具を子どもたちが取り出したり片づけたりできる場所に置く工夫をしていますか。	2	7		

(3) 乳児保育	A	B	C	D
1、室内の温度や湿度調整、換気チェックをしていますか。	6	10		
2 おむつ交換は、優しく声をかけながらおこなっていますか。	8	9		
3、授乳は抱いて、目線を合わせたり、優しく声をかけながらゆったりとした気持ちでおこなっていますか。	5	7		
4、一人一人の生活リズムに合わせて睡眠がとれるように、環境を整えていますか。	2	13	1	
5、しぐさや声や動きを介して発する欲求を察知し、タイミングよく温かな応答的な関わりをしていますか。	3	9	4	
6、一人一人の育ちやその日の様子など、職員間で連携を取り、職員全体で、見守る体制ができていますか。	9	8	1	
7、離乳食に関しては、発達段階、個人差などに対応し、家庭と連携を取りながら、進めていますか。	3	5	2	
4章 保育の計画及び評価				
1、保育園の全体的な計画（保育理念・保育目標・保育指針など）を理解していますか。	1	9	4	
2、指導計画のねらいや内容を保護者にわかるように説明できますか。	1	8	5	
3、指導計画は必ず、保育園の全体計画に基づいて作成していますか。	6	7	3	
4、年間・月案等の長期的な指導計画と関連させ、子どもの生活に即した日案の指導計画を作成していますか。	6	7	1	
5、行事は、保育上の意義を十分検討したうえで、月齢に合った内容が指導計画に組み込まれていますか。	6			
6、保育計画が、実際の子どもの姿、心情、意欲、態度に合っているのか、自身の保育を振り返り、反省、評価をしていますか。		6	4	
7、あなたの指導計画の反省・評価は次の指導計画作成に反映できるものとなっていますか。		6	3	
8、その日あった出来事や気になる子どもの様子などを、その子どもに関わる職員や申し送りなどで、共有していますか。	6	5	2	

5章健康及び安全	A	B	C	D
1、子どもの日々の健康状態を把握し、それを一人一人の保育に生かしていますか。	3	12	1	
2、身長・体重などの定期的な計測および、健康診断の結果を保護者に伝えていますか。	6	9	1	
3、子どもが活動しやすいようにその都度、保育室の換気や温度湿度に配慮していますか。	6	9	1	
4、子どもが危険な場所や遊びがわかり安全に遊ぶように指導していますか。	4	9		
5、子どもが落ち着いて食事・おやつを楽しめるように雰囲気作りなど工夫していますか。	4	10	3	
6、自然の恵みとしての食材や、調理する人への感謝の気持ちが育つよう、心がけていますか。	2	9	2	
7、食物アレルギーの子どもに対して、家庭と連携しながら除去食などの配慮をしていますか。また、誤食の世防対策として常にマニュアルに沿った対応をしていますか。	3	15		
8、あなたは、保護者が子育ての悩みや心配事などを安心して話せる存在になるように心がけていますか。	1	10	3	
9、あなたの保育に批判的な保護者に対しても、丁寧に意見や要求をうけとめようとしていますか。	1	11	2	
10、園の食育計画に基づいて、食育に関する取り組みを実践していますか。	2	8	3	
6保護者支援				
1、送迎の際に、保護者と必ず挨拶や言葉を交わすようにしていますか。	6	8	1	
2、保護者面談を行っていますか。(希望者のみ可)	2	6		
3、家庭との信頼関係が築けるような連絡ノートの書き方をしていますか。	2	8		
4、保護者からの相談内容などを担任一人の問題にせず、園全体で受け止めようとしていますか。	5	13		
7章職員の資質向上				
1、職員会議などでは、子どもの最善の利益を尊重して発言していますか。		11		
2、園の内外における、研修、研究活動及び自己研鑽により、専門性を高める努力をしていますか。		7	7	
3、同僚のそれぞれの役割と、あなたが果たす役割を理解していますか。	1	14		
4、職員同士や保護者との信頼関係を深めるための努力をしていますか。	1	13	3	
5、あなたは、創意と工夫を惜しまず、喜びや意欲をもって保育をしていますか。	3	14		

◆その他	A	B	C	D
1、毎日笑顔で子どもや保護者、同僚に接するように心がけていますか。	4	14		
2、子どもとよく遊び、一緒に楽しんでいますか。	5	13		
3、子どものこと、クラスの様子や出来事、保護者の様子など、適宜 園長や副園長、主任に報告、連絡、相談をしていますか。	6	9	1	
4、子どもの発達に合った手作りおもちゃなど、創意工夫を惜しまず、保育に取り入れていますか。	6	7	2	
5、子どもの名前は、呼び捨てやニックネームなどでなく、きちんと名前で〇〇さん〇〇君と呼んでいますか。	1	5	7	※2
6、子どもの個人情報を適切に扱うとともに園内で知り得た事柄に対して守秘義務を遵守していますか。	8	10		
7、帳簿類は、適切に記載し、保管されていますか。	6	9		

□園全体の衛生管理について□(新型コロナウイルス感染対策として)

1、子どもたちが触れる場所や遊具、玩具、寝具類などを衛生的に管理していますか。また、室内の換気、定期的な掃除、消毒などをきちんとおこなっていますか。(新型コロナウイルス感染防止の為、できる限りの予防措置をおこなっているか)	6	12		
2、園内に入室するときにはマスク着用を必須とし、手指の消毒、検温をしていますか。また、自身の健康管理を適切におこなっていますか。	18			
3、子どもたちの食事やおやつの援助をする時には、手指の消毒をおこない、手袋を着用するなどの配慮がなされていますか。	15	3		
4、職員は、保育に携わる立場を自覚し、ウイルス感染を未然に防ぐために国や自治体の要請に沿った行動を心掛けていますか。	15	3		

★ ★ 総合評価・反省・今後の課題 ★ ★

各項目別評価

1章 総則… B

2章 子どもの発達…B

3章 保育のねらい（乳児保育含む）…B

4章 保育の計画及び評価…B

5章 健康及び安全…B

6章 保護者支援…B

7章 職員の資質向上…B

* その他… B(※)

* 園全体の衛生管理…A

総合評価 . . . B

*評価対象の保育士人数は、18名でおこなった。設問の内容により無回答も含め、回答総数が異なる場合がある。

今回の評価結果を踏まえ、振り返りをおこなうことにより、保育実践、内容等の課題を見つけ改善の方向を探り、保育の質を向上させるとともに今後、さらに豊かな保育を展開していくために活用していく。今回の結果では、その他の項目(※)で、子どもの名前をニックネームで呼んでしまうと答えた人数が多くいた。理解はしているものの親しみやすさや、家庭での呼び名の方が反応が良いなどの理由があった。決して不快な呼び名で呼んでいるのではないが、やはり子どもたちへの影響も考え、個人の名前をきちんと呼ぶべきであると認識している。保育士同士、互いに気をつけ、共通の理解として意識付けしていくことが職員資質の向上にもつながるものという視点から、今後の課題として、職員の意識の改革が必要だと考える。

☆星座保育園管理者用（園長・副園長・主任）

自己評価の総合評価 2021 年

『評価基準』 A・B・C・Dの4段階です

A:大変良い B:大体よいが更に良くできる（もう少し学びの必要あり）

C:検討を要する D:改善を要する

1. 総則	総合評価
(1) 保育所保育指針の趣旨や必要な法令に関して理解している	A
(2) 保育所保育指針が示す保育所の役割や保育の原理を理解し、保育をおこなっている	A
(3) 保育園の全体的な計画（保育理念・目標）を理解し、説明できる	A
2. 子どもの発達	A
(1) 乳幼児期の発達の特性を理解している	A
(2) 乳幼児の心身の発達段階を理解している	A
(3) 子どもの気持ちを理解し、信頼関係を築けるように日常的に心掛けている	A

3. 保育の内容	
(1) 保育の目標を達成するために、ねらいや内容を具体的に立て保育を展開していることを理解している	A
(2) 子どもが日々を過ごすために安全な環境や適切な衛生状態を作ることができている	A
(3) 一人ひとり健康状態について把握し、異常に気付いたり、生活に必要な基本的な生活習慣や態度を身につけられるよう促したり、運動遊びを充実させ、やり遂げた喜びや自信が持てるような配慮ができる	A
(4) 人との関わりの中で、ルールを守って活動する心地良さや、自分の意思を主張したり相手の意見を受け入れたりしながら、人はかけがえのない存在であることに気付かせるように導く努力をしている	A
(5) 身近な自然と触れ合う体験の場を設け、生命の尊さ、自然の不思議や偉大さに興味や関心を持ち、子どもたち自身の様々な発見や考察を大切にはぐくむ保育をおこなっている	A

(6) 様々な表現活動を通して感動や発見ができる環境を整えたり、歌ったり踊ったり学期を引く楽しさを味わい、自己表現ができる場や機会を設けている	A
(7) 職員の連携体制の下に気になる子や障害を持つ子の特性を理解し、保護者の思いなどもしっかりと受け止め、理解しようと努めて援助している	A
4. 保育の計画及び評価	
(1) 各クラスの計画を立て予測することによる実践を経て評価し、次の計画へとという流れを基本に置いて、柔軟な計画作成を提案・助言をおこなう	A
(2) 保育内容を評価・反省し、課題を見出した内容に適切なアドバイスをおこなう	A
5. 健康及び安全・食育	
(1) 保育所をとりまく環境及び一人一人の子どもたちの状態を把握し、臨機応変に対応しつつ子どもへの適切な対応ができる	A
(2) 子どもの事故及び救急・救命処置ができる。また、避難訓練や防災訓練水害訓練などの実施、不審者対応マニュアルを作成し、定期的に訓練をおこなっている	A
(3) 基本的なアレルギーの種類や特質について理解し、アレルギーの子どもへの援助ができる	A
(4) 体と食物の関係・栄養について基礎知識を持ち、個人差を考慮した上でできるだけ好き嫌いをなく食べられるような援助をおこなう。また、食育活動での栽培や収穫を通して、食への興味や関心が持てるよう配慮していく。食事の基本的なマナーを伝えていく	A
6. 保護者支援・子育て支援	
(1) 保護者との信頼関係を築き、日常的な情報交換を始め、個別に面談などをおこなっている	A
(2) 虐待について早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長に届く体制になっている。問題解決のための手立てを講じ、関係機関との連携を図り有効な対応ができる	A
(3) 保護者の人権・プライバシー守秘義務について理解でき、保護者への簡単なカウンセリングや子育てアドバイスができる	A
(4) 園の子育て事業の理解説明ができ、地域の子育て支援のニーズを把握している	B
(5) 時間預かりや一時保育を受け入れ子育て支援の推進に努める。 ※状況により、受け入れを中止することもある	受け入れ中止 (コロナウイルス感染対策)

7. 職員の資質向上	
(1) 社会人として一般常識を持ち、身だしなみ等に注意し来客対応ができ自己の健康管理ができる	A
(2) 保育士という職種を意識し、園の信用を無くすような行為・発言はしない	A
(3) 公平に人の話を聞き、正確に伝達できる	A
(4) 自分の職務に積極的に取りくみ、担当以外の業務にも進んで参加することができ、自己研鑽をつむことができる	A
(5) 職員間での協調性・信頼関係があり、後輩育成のための適切な助言やフォローができる	A
(6) 他人の心情・立場を理解し、ものごとを判断し援助できる	A
(7) 保育の質の向上や改善のための取り組みを、職員参加によりおこなっている	B
(8) 職員の研修ニーズを把握し、職員に適切な研修機会を確保している	A
(9) 実習生を受け入れるにあたっては、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、実習担当者もきめられている	A
8. 地域住民や小学校・関係機関・団体との連携	
(1) 子どもの健康状態について、園嘱託医による年に2回の健康診断や歯科検診を実施し、相談や連携ができる体制になっている	A
(2) 小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設け、定期的に職員間の話し合いの場などで連携の機会がある。また、中学生や高校生の職場体験を受け入れ、子どもたちとの交流の場をつくる。	B
(3) 地域の方々とのコミュニケーションをとりながら、地域と園とで共に子どもたちの育ちを見守る環境づくりをしている。	B
(4) 地域の行事に参加するなど、いろいろな文化に触れる機会を設ける。	B
9. 運営管理	
(1) 保育所の保育理念及び基本方針が明文化されている	A
(2) 守秘義務の遵守を周知している	A
(3) 保護者への情報提供に当たっては、わかりやすく正確に伝える工夫をしている。また、保護者からのご意見・苦情などは常時受け付け、迅速な対応をしている	A
(4) 事故や災害に適應できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A
(5) 帳簿類は適切に記載し、管理・保管が徹底されている	A

(6) 施設内外の設備の安全点検を計画的におこなっている	A
(7) 遊具用具等を活用しやすいように整理、保管している	B
(8) 園だより・その他の情報・伝達事項などは、アプリ内で管理され、配信している	A
(9) 外部評価として第三者評価を導入し、施設運営に反映している	D

□**園全体の衛生管理・新型コロナウイルス感染予防対策について**□

1) 感染予防対策として、園の出入り口にアルコール消毒液を設置し、保護者や来園者には感染予防対策の協力をお願いをする。また、職員の検温とマスク着用を徹底し、事故の体調管理を促す。園児には、各家庭で毎朝検温し、健康状態をアプリ内で、申告してもらうようにする。	A
2) 国や自治体の要請を受け、状況を見ながら保育室への入室制限などの措置を取り、園の行事や園外活動などの外部との接触が見込まれるものは、必要に応じた制限を園独自で設け、状況に合わせた判断をする。	A
3) 子どもたちや保護者、職員同士への感染を未然に防ぐためにも保育者としての自覚ある行動を呼びかける。	A

【園全体の評価と今後の課題】

- * 管理者の全体的な評価では A 評価となったが、保育士全体の評価では B 評価となった。園全体の現状を改めてしっかりと見直し、改善点を全職員の共通の課題とし、あらゆる面で質の向上を目指し、職員一人ひとりの意識の向上を目標にできることから取り組んでいきたい。外部評価の第三者評価導入に関しては前向きに検討している。